



電気絶縁袋 電手

エコカー市場開拓

三恵工業 メンテ用途に提案

三恵工業(埼玉県八潮市、中村貞之社長、048・996・5225)は電気絶縁手袋でエコカー市場を開拓する。ハイブリッド車(HV)、電気自動車(EV)の普及拡大を踏まえ、低圧作業に對

応じた薄型絶縁手袋をメンテナンス用途に提案する。同手袋の販売は20

09年実績比60%増となる6000双への拡大を計画している。



電線工事などで用いる交直………EV・HVの普及拡大を踏まえロードサービス会社などに需要が見込めると判断した

流7000V以下向けの高圧作業用絶縁手袋に対し、三恵工業が手がけるのは同600V以下の低圧作業向け絶縁手袋。従来は電力、電気工事関連の需要が主だったがHV、EVの普及で、ロードサービス会社などでの需要が見込めると判断した。すでに、試験導入している企業もあるという。07年に

床面積500平方メートルの新工場を稼働させたが、新需要に対応してライン増設も検討する。

エコカー向けに拡販する絶縁手袋はスチレン系

エラストマー層の上にポリウレタン樹脂層を重ねた構造で薄型なのが特徴。中村社長は「他社の電気絶縁手袋は厚さ1ミリ程度の場合が多いが、

当社の場合は0.7ミリ以下。従来の電気用ゴム手袋では難しかった指先の細かな作業にも対応でき、耐油性などに優れる」という。